

平成 27 年度「医療放射線安全管理講習会」の開催

主催：医療放射線防護連絡協議会
後援：厚生労働省(予定)

この講習会は、医療領域における放射線防護を関係者に正しく理解され、放射線管理が合理的に為されることを目的に開催してします。

今回は、恒例の医療放射線安全管理行政に係る放射線立入検査と、医療放射線防護に関連する学協会が協働して、本年の 6 月に設定された「診断参考レベル (diagnostic reference level; DRL)」をテーマに取り上げます。

◆開催場所と日時

- 東京会場 (第 59 回) 平成 27 年 10 月 16 日 (金) 10:15~16:15
首都大学東京 荒川キャンパス内 大視聴覚教室 (東京都荒川区東尾久 7-2-10)
日暮里・舎人ライナー「熊野前」駅下車徒歩 3 分, 都電荒川線「熊野前」駅下車徒歩 3 分
田端駅: 都営バス端 44 系統「北千住駅行」, 「首都大荒川キャンパス前」下車すぐ
- 京都会場 (第 60 回) 平成 27 年 11 月 8 日 (日)
(株)島津製作所 本社・研修センター (京都市中京区西ノ京桑原町 1)
地下鉄東西線: 西大路御池駅より徒歩 3 分、阪急京都線: 西院駅より徒歩 10 分

◆プログラム予定

開催の挨拶: 10:15 佐々木 康人 (医療放射線防護連絡協議会 会長)

第 1 部 10:20~12:00

教育講演 1 (10:20~11:10)

演題: 我が国における診断参考レベルの概要
神田 玲子 (放射線医学総合研究所)

教育講演 2 (11:10~12:00)

演題: 医療放射線診療施設の放射線立入検査
東京会場 山口 一郎 (国立保健医療科学院)
京都会場 藤田 真紀 (大阪府健康医療部)

(昼食・休憩)

第 2 部 医療現場における診断参考レベルの普及と活用 (13:00~14:40)

(講演時間: 各 30 分)

1. X線CTの診断参考レベルの現場対応

東京会場 鈴木 昇一 (藤田保健医療大学)
京都会場 菊元 力也 (洛和会音羽病院)

2. IVRの診断参考レベルの現場対応

東京会場 塚本 篤子 (N T T 関東病院)
京都会場 市田 隆雄 (大阪市立大学)

3. 診断参考レベルを臨床現場ではどう受け止めるか

* 医師・診療上の立場から *

東京会場 本田 憲業 (埼玉医科大学)

京都会場 中村 仁信 (彩都友誼会病院)

(休憩)

第3部 話題と総合討論 (15:00~16:15)

東京会場 座長 菊地 透 (医療放射線防護連絡協議会総務理事)

京都会場 座長 大野 和子 (京都医療科学大学)

閉会の挨拶: 菊地 透 (医療放射線防護連絡協議会総務理事)

◆受講料: 6,000円 (テキスト: 「講演要旨」)

◆申込方法: FAX または Eメールで医療放射線防護連絡協議会にお申込み下さい。

◆申込先: 医療放射線防護連絡協議会 事務局

〒113-8941 東京都文京区本駒込 2-28-45 日本アイソトープ協会内

Fax(03)5978-6434 Tel(03)5978-6433(月・火・木・金: 午後のみ)

E-mail jarpm@chive.ocn.ne.jp